



令和5年度島根大学学位授与式（松江キャンパス）を3月22日（金）に島根県民会館大ホールにて挙行し、松江キャンパスでは合計1221名が本学を卒業・修了しました。

式では服部学長から「身につけた専門性を駆使して社会変革の先導者として果敢に挑戦し、持続性が担保され、よりよい生活のできる社会の実現への貢献を期待している」旨の式辞があり、卒業生・修了生に学位記が授与されました。ご臨席いただいた丸山達也島根県知事からは「日本、そして、島根の未来を切り開

く人材として、大いに力を発揮してほしい」旨の祝辞を賜りました。

卒業生代表は「新型コロナウイルスの流行の中で当たり前が当たり前ではなくなり、日常生活の尊さや人との繋がりのあたたかさがかえって強く実感した期間でした」と大学生活を振り返り「島根大学の卒業生であることに誇りを持ち、それぞれの場所で精進して参ります」と決意を表明。式場の外では学生が集まり、卒業生・修了生の門出をにぎやかに祝いました。

令和5年度島根大学学位授与式（松江キャンパス）を挙行



NEWS
04



【世界初】重症な心臓の先天性疾患に2つの難病を併発した患者の手術が成功

新生児や乳児期に見つかることの多い先天性心疾患と2つの難病を併発した30代女性に対し、昨年7月、医学部附属病院心臓血管外科（小児心臓担当）中田朋宏講師らのチームが肺動脈と右肺を人工血管でつなぎ正常な形にする再建手術を実行。半年経過後に治癒を確認し、3月に記者会見を行いました。これほど稀な症例に手術を施し、治癒を確認した例は世界初です。

階段の上り下りで息苦しいといった症状での受診で、心不全を引き起こす恐れのある「右肺動脈大動脈起始症（みぎはいどうみやくだいどうみやくきししょう）」を診断。「高度肺

高血圧」と「右肺動脈静脈瘤（みぎはいどうじょうみやくろう）」も併発していました。先天性心臓疾患が原因とみられたため、中田講師は、小児心臓、小児循環器、循環器内科で連携して治療を開始しました。

過去に類をみない複合的な症例のため、外部の医師の意見も参考にした上で患者さんの意向を尊重。チーム医療で10時間に及ぶ大手術に挑み、成功させました。術後は「高度肺高血圧」も改善し、また人工血管により「右肺動脈静脈瘤」も治癒。患者さんは現在、元気に日常生活を送られているとのこと。

中田講師は「今回は先天性心臓疾患が大人で見つかった稀なケース。難しかったが、肝臓からの血液が右肺動脈に流れることで合併症状が治癒するという発見も得られ、今後の治療に役立つ可能性がある」と話し、椎名病院長は「当院のチーム医療により日本の先端医療を地域完結型で提供できた」とコメントしました。



NEWS
01

NEWS
05



4月14日（日）、生物資源科学部附属生物資源教育研究センター海洋生物科学部門（隠岐臨海実験所）の吉田真明准教授が、しほね海洋館アクアス（浜田市・江津市）の協力のもと、ダイオウイカの公開解剖を行いました。令和3年1月に出水市の漁港に生きた状態で漂着し、胴体167cm、体重170kgと県内で発見された中で最も大きく、アクアスが研究用に冷凍保管していた個体です。また同日に益田市の定置網で発見された小型のリュウグウノツカイも同時公開。今後、ダイオウイカとリュウグウノツカイは各地で標本として展示する予定です。

アクアスにてダイオウイカの公開解剖を開催



NEWS
02



令和5年度情報共有フォーラム開催

島根大学は広島大学と共同で令和5年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（調査分析）」事業に取り組んでいます。海外の大学及び研究機関の取り組みの現状・課題を調査分析し、地方に位置する高等教育機関の視点から研究環境づくりの提言を目指すものです。

この事業の報告会として3月19日（火）に多様な力を活かす働きやすく働きたいのある研究環境とはをテーマにしたフォーラムを開催。企業・団体、学生など、対面では33名、オンライン49名が参加。次年度行う提言策定に向けて前進したフォーラムとなりました。



NEWS
06



電気学会2023技術委員会奨励賞受賞

自然科学研究科理工学専攻知能情報デザイン学コースの新田翔也さんが、電気学会2023年電子・情報・システム部門技術委員会奨励賞を受賞しました。

本賞は、昨年12月に開催された電気学会情報システム研究会における「頭部上下振動と昇降動作の観点から見た上下方向の感覚不一致とVR酔いの調査」の発表に対するものになります。この発表では、VRによって起こる吐き気や目の疲れなどの「VR酔い」について、歩行の際に生じる頭部の上下振動や身体全体の上下方向の移動の有無が及ぼす影響を、実験を通して明らかにしました。

電気学会2023技術委員会奨励賞受賞



NEWS
03



島大アンバサダがキャンパスツアーを実施

島大アンバサダは4月3日（水）、帝京大学の留学生8名に対するオリエンテーションの一環として、島根大学内のキャンパスツアーを行いました。ツアーでは、授業で利用する各学部棟のほか、附属図書館や島根大学生協、博物館などを巡り、島根大学での学生生活や学生の目線で見た島大の魅力について説明しました。当日はあいにくの雨でしたが、双方の学生が会話を楽しみながら交流を深めました。島大アンバサダは、今年度も島根大学の魅力を発信するため、積極的に活動していきます。

